

各 位

上場会社	菊水電子工業株式会社
代表者	代表取締役社長 小林 一夫
(コード番号)	6912)
問合せ責任者	常務取締役管理本部長 齋藤 士郎
(TEL)	045-482-6912)

第 2 四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	3,700	130	140	100	11.90
今 回 修 正 予 想 (B)	3,400	40	50	35	4.19
増 減 額 (B - A)	△300	△90	△90	△65	
増 減 率 (%)	△8.1	△69.2	△64.3	△65.0	
(参考) 前第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	3,544	140	139	80	9.55

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	8,100	550	570	380	45.22
今 回 修 正 予 想 (B)	7,800	460	480	315	37.69
増 減 額 (B - A)	△300	△90	△90	△65	
増 減 率 (%)	△3.7	△16.4	△15.8	△17.1	
(参考) 前 期 実 績 (平成 29 年 3 月期)	7,736	490	468	334	39.79

修正の理由

1. 第 2 四半期累計期間の業績予想の修正

我が国経済は、雇用・所得環境や企業収益が改善するなど、緩やかな景気回復基調が続いているものの、海外情勢の不透明感や人手不足感の高まりなどから慎重姿勢も見られました。

また、海外経済においても同様に景気は緩やかに回復しておりますが、米国の保護主義的政策、英国のEU離脱問題をめぐる欧州情勢や中国及びアジア新興国経済の経済鈍化懸念等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

一方、当社グループが属する電子計測器、電源機器等の業界においては、製造業の設備過剰感は改善傾向にあるものの、設備投資への慎重な姿勢が見られ、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは引き続き環境・エネルギー関連市場、自動車関連市場及び冷凍空調市場を中心に積極的な営業活動と研究開発活動を行うと共に、原価低減と経費節減にも努力を重ねてまいりました。

しかしながら、売上高は設備需要が伸び悩んだことにより、当初計画を下回る見込みとなりました。

損益面におきましては、本年 5 月に実施した本社移転に伴う費用の発生は当初計画に織り込み済みであるとともに、引き続き原価低減と経費節減にも取り組んでおりますが、売上高の減少を補い切れないことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。

以上の理由から、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました第 2 四半期累計期間の業績予想の修正を行うものであります。

2. 通期の業績予想の修正

第 2 四半期累計期間の業績予想の修正を踏まえて、通期業績予想の修正を行うものであります。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以 上